

NU-COIL LETTER

POWER OF COLLABORATION

VOL.3

feat. 大澤優隆 Masataka Osawa



Interviewer

藤掛 千絵 Chie Fujikake

【国際センター事務室長との対談】

今回は、南山大学国際センターの大澤優隆 事務室長から聞けたお話をお届けしたいと思います。教員だけでなく、たくさんの事務職員さんたちにも支えられている南山のNU-COIL。代表の大澤事務室長に本音を聞いてみました。(2021年10月8日)

藤掛) 本日はよろしくお願ひします。まず最初に、国際センター事務室長としての仕事のやりがいとモットーを教えてください。

大澤) はい。学生が国際交流や留学を通じて新しい可能性を見つけていくプロセスに携わることができることにとてもやりがいを感じます。モットーは「失敗を恐れなくてチャレンジしていくこと」。国際センター事務室として常に何かに挑戦することを目指しています。

藤掛) ありがとうございます。では次に、NU-COILの一番の魅力を一言で教えてください。

大澤) COIL型授業の多様さです。取り上げているテーマやパートナーの大学、教えている先生がすべてユニークで、受講すれば必ず新しい発見があると思います。特にPBL COILはNU-COILのためにテイラーメイドされた主力コンテンツなので、ぜひみなさんに受講してほしいですね。

藤掛) 今では本当に多くの先生方にCOIL型授業を展開していただいていますよね。では、NU-COILに参加する学生たちへの期待や伝えたいことを教えてください。

大澤) COIL型授業や留学を通じて得られる経験や力は人生をポジティブにしてくれます。大変なこともたくさんあると思いますが、先生や仲間との縁を大切に精一杯取り組んでください。

藤掛) 最後に、大学の国際化に向けて(密かな)野望や計画があればここでこっそり教えてください。

大澤) 「日本でCOILといったら南山」と言われるようにしたいですね。そのために、もっともっとNU-COILを充実させたいと思います。COIL型授業を受けるのが当たり前みたいになったらいいなと思っています。

藤掛) 今後も、国際化に向けてぜひ一緒に新しいことに挑戦していきましょう。ありがとうございました。